

秋の全国交通安全運動

9月21日(月・祝)～9月30日(水)

9月30日は
「交通事故死ゼロを目指す日」です

運動の重点

- ①子どもを始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
- ②高齢運転者などの安全運転の励行
- ③夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止
- ④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

問 生活環境課 (内線172)

横断歩道における歩行者最優先の徹底

知っていますか?「ダイヤ(ひし形)マーク」



横断歩道上での交通死亡事故が増えています。通称「ダイヤ(ひし形)マーク」は、前方に横断歩道があることを意味する標示です。運転者は、横断歩道を横断している歩行者や、横断しようとしている歩行者がいるときは、必ず横断歩道の手前で一時停止して、歩行者を安全に横断させなければなりません。ダイヤマークをしっかりと確認して、交通ルールを守りましょう。

住宅用火災警報器を設置しましょう！

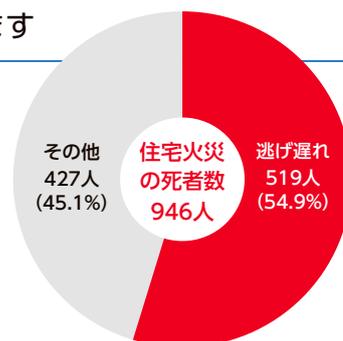
平成23年6月1日から設置が義務化されています

■ どうして住宅用火災警報器の設置が必要な？

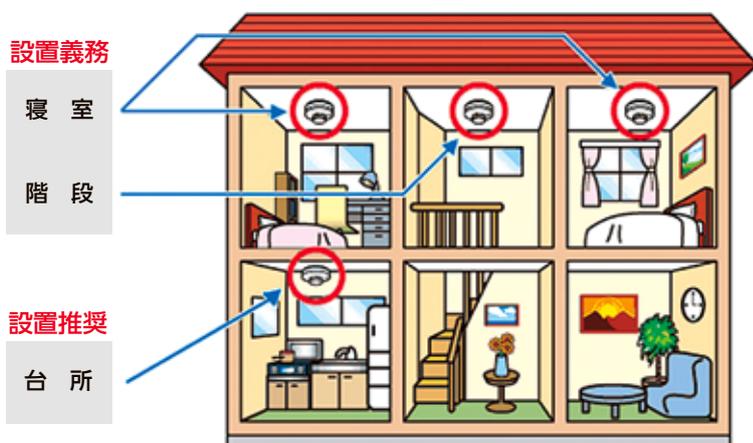
- ▷住宅火災による死者（放火自殺者などを除く）の7割が高齢者
- ▷住宅火災による死者の半数以上が『逃げ遅れ』
⇒ 火災を早く発見し『逃げ遅れ』を防ぐためには…
- ◎火災の煙や熱を自動で感知し、警報音などで火災の発生を早期に知らせる住宅用火災警報器が有効です。

■ 住宅用火災警報器はどこに設置するの？

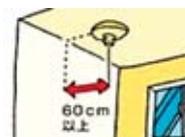
- ▷逃げ遅れを防ぐために『寝室』と『階段*』に設置が必要です。
※寝室が2階以上の階にある場合
- ▷土岐市では『台所』の設置義務はありませんが、設置を推奨しています。



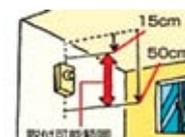
平成30年(1～12月)における火災の状況(確定値)から作成
《総務省消防庁より》



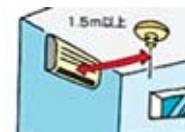
【天井取付けの場合】



【壁取付けの場合】



【エアコンがある場合】



■ 住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。

- ▷住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるためとても危険です。10年を目安に交換しましょう。

問 予防課 (☎53129)